

米国ポートランド・ベストプラクティスツアーの受け入れとポートランド州立大学 総長と大学間協定に関する意見交換を行いました (2017/4/25)

テーマ: 日本・東北の防災・復興、大学間協定
場所: 東北大学災害科学国際研究所 (仙台市青葉区)

2017年4月25日(火)、米国ポートランド都市圏の行政官、技術者、NGO、大学等から約20名が災害科学国際研究所を訪問し、日本、特に東北での防災・復興の経験を共有しました。当研究所からは、以下の5つのテーマで今村文彦所長(災害リスク研究部門)、奥村誠教授、丸谷浩明教授、井内加奈子准教授(以上、人間・社会対応研究部門)、サッパシー・アナワット准教授(災害リスク研究部門)が話題提供し、その後マリ・エリザベス助教(人間・社会対応研究部門)も参加して、活発な意見交換を行いました。

1. The damage due to the 2011 Tohoku earthquake and tsunami and its lessons learned for future disaster mitigation (今村文彦所長)
2. Risk Consideration in Transportation Facilities in Japan (奥村誠教授)
3. Public administration and business continuity in a time of disasters (丸谷浩明教授)
4. Tohoku recovery progress: A review on neighborhood reconstruction plans and statuses (井内加奈子准教授)
5. Tsunami in Tohoku region and remaining challenges (サッパシー・アナワット准教授)

第1部終了後、ポートランド州立大学総長等と災害研所長等とで、大学(部局)間協定について意見交換を行い、今後、災害レジリエンスに関する研究や教育に関連する活動を共同で行うための具体案について話し合いました。

